

UR816C

USB AUDIO INTERFACE



EN *Startup Guide*

DE *Kurzanleitung*

FR *Guide de démarrage*

ES *Guía de inicio*

PT *Guia de Inicialização*

IT *Guida iniziale*

RU *Руководство по подготовке к запуску*

ZH *启动指南*

KO *시작 가이드*

JA *スタートアップガイド*



目次

開発者からのメッセージ.....	4
パッケージ内容	5
安全上のご注意	6
注記(使用上の注意)	9
お知らせ	9
取扱説明書の種類.....	11
取扱説明書の表記.....	11
電源の準備.....	12
電源アダプターの接続	12
電源のオン/オフ	12
TOOLS for UR-C	13
Yamaha Steinberg USB Driver.....	13
Steinberg UR-C Applications.....	13
Basic FX Suite.....	13
コンピューターで使う前の準備	14
TOOLS for UR-Cのインストール	14
Basic FX Suiteのアクティベーション	16
Cubase AIのダウンロード	16
iOS 機器で使う前の準備	17
アクセサリ(別売)の準備	17
Steinberg dspMixFx UR-Cの	
ダウンロード	17
DAWアプリケーションの	
ダウンロード	17
アフターサービス.....	18
保証書	19

開発者からのメッセージ

このたびはUSBオーディオインターフェースUR816Cをお買い上げいただきありがとうございます。ごさいます。

2011年にデビューしたURシリーズは、ラインナップを追加するたびに進化を続けています。そのフラッグシップモデルとして、今回新たな仲間となったのがUR816Cです。

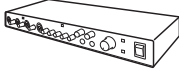
UR816Cは1Uラックサイズに8マイクプリアンプ(D-PRE)を搭載し、ADAT、MIDI、WORD CLOCKなどハイレベルのレコーディングに必要な入出力を網羅しています。192kHz/32-bitのハイレゾリューションオーディオをマルチトラックで録音再生でき、演者のパフォーマンスを余すところなくキャッチします。USB 3.0で動作するドライバーは新規開発により既存のドライバーよりもさらに安定性を増し、低レイテンシーでのレコーディングを実現しています。本体のDSPには、URシリーズでは定番となったチャンネルストリップ、リバーブ、ギターアンプなどのエフェクトを内蔵し、ゼロレイテンシーでモニターしながら快適なレコーディングをサポートします。筐体サイズもUR824よりコンパクトになり、ラップトップコンピューターと共に持ち出してバンドやライブのレコーディングに使用するシーンなどにも、よりマッチするようになりました。原音忠実を一貫して守ってきたURシリーズのさらなる進化が、皆様の創作活動にさらなる可能性を生み出す一助となることを願ってやみません。

Steinbergハードウェア
開発チーム一同

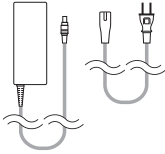
パッケージ内容

箱を開けたらまずパッケージ内容をご確認ください。

① UR816C本体

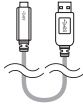


② 電源アダプター (PA-300Cまたはヤマハ推奨の同等品)



形状は地域によって異なります。

③ USB 3.0ケーブル(3.1 Gen1, Type-C to Type-A, 1.0 m)



④ ラックマウント金具



参照「ラックマウントの取り付け」(10ページ)

⑤ 取付ネジ×8本



⑥ ケーブルフック



参照「ケーブルフックの取り付け」(12ページ)

⑦ UR816Cスタートアップガイド



⑧ CUBASE AI DOWNLOAD INFORMATION



⑨ ESSENTIAL PRODUCT LICENCE INFORMATION



安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

本製品は音楽制作で使用する機器です。用途以外の目的では使用しないでください。

取り扱いに不慣れな方や、子供など本書に従って取り扱いできない方が使用する場合は、必ず安全面で責任を持てる方が補助してください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

お読みになったあとは、本製品を使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」「注記」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度により区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

注記

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。

記号表示について

本製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起	 一般注意
禁止	禁止 分解禁止 水ぬれ禁止 ぬれ手禁止
必ず実行	必ず実行 電源プラグを抜く



警告

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/電源アダプターが破損した場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に水や異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

電源 / 電源アダプター



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ・ストーブなどの熱器具に近づけない
- ・無理に曲げない
- ・傷つけない
- ・電源コードに重いものをのせない

感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は本製品に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプター / 電源コードは、必ず付属のものを使用する。

故障、発熱、火災などの原因になります。付属の電源コードは日本国内専用(125Vまで)です。



禁止

付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグのほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。必要に応じて、定期的にはこりを拭き取ってください。



必ず実行

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

火災やショートのおそれがあります。



必ず実行

本製品をコンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。電源プラグに容易に手が届き、操作できるように設置してご使用ください。



必ず実行

• 長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

• 雷が鳴りだしたときは、本製品や電源プラグに触らない。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

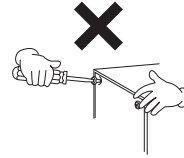
分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。



水や火に注意



禁止

• 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
• 浴室や雨天時の屋外など湿気が多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。

聴覚障害



必ず実行

電源を入れたり切ったりする前に、必ず本製品や接続している機器の音量(ボリューム)を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。



必ず実行

オーディオシステムの電源を入れるときは、パワーアンプをいつも最後に入れる。電源を切るときは、パワーアンプを最初に切る。聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しない。聴覚障害の原因になります。

**注意**

電源 / 電源アダプター



禁止

電源アダプターは、布や布団で包んだりしない。熱がこもって発熱し、やけどや火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置と接続



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。本製品が転倒して故障したり、けがをしたたりする原因になります。



禁止

本製品を子供の手の届くところに置かない。本製品は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



禁止

放熱のため、本製品を設置する際は、

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたんやカーペットなどの上には設置しない。
- 天面以外を上にして設置しない。
- 風通しの悪い狭いところへは押し込まない。

製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。故障の原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行なう。ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。

お手入れ



必ず実行

本製品をお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

本製品の上ののったり重いものをのせたりしない。本製品が破損したり、けがをしたたりする原因になります。

注記(使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱い/お手入れに関する注意

- ・ **テレビやラジオなど、他の電気製品の近くで使用しない。**
本製品、または他の電気製品に雑音が生じる原因になります。
- ・ **極端に温度の高いところや低いところ、ほこりや振動の多いところで使用しない。**
本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- ・ **温度変化が激しい場所に設置しない。**
製品内部や表面に結露が発生し、故障したりする原因になります。
- ・ **結露が発生しているおそれがあるときは、しばらく放置してから電源を入れる。**
結露した状態で電源が入ると、故障の原因になります。
- ・ **本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。**
パネルの変色/変質の原因になります。
- ・ **お手入れのときは、ベンジン、シンナー、洗剤、化学ぞうきんなどで製品の表面を拭かない。**
変色/変質する原因になります。
- ・ **電源アダプターを本製品から十分離して設置する。**
電源アダプターと本製品を近づけると、雑音の原因になります。

お知らせ

■ データの著作権に関するお知らせ

- ・ 取扱説明書の著作権はヤマハが所有します。
- ・ ソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ 本製品は、Steinbergおよびヤマハが著作権を有する著作物や、Steinbergおよびヤマハが第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハの許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を超えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

■ 製品の機能/データに関するお知らせ

- ・ 本製品は、クラスB機器です。本製品は、住宅環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。(VCCI-B)
- ・ XLRタイプコネクターのピン配列は、以下のとおりです(IEC60268規格に基づいています)。
1: グラウンド(GND)、2: ホット(+)、3: コールド(-)

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- ・ ソフトウェアおよび取扱説明書を使用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ Steinberg、Cubase、Cubasisは、Steinbergの登録商標です。
- ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Mac、iPad、Lightningは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneは、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されている商標です。
- ・ IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

安全上のご注意

- ・ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

■ 廃棄に関するお知らせ

- ・本製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください。

データが破損したり失われた場合の補償や、不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

機種名（品番）、製造番号（シリアルナンバー）、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

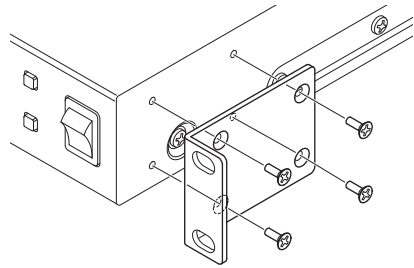
機種名

製造番号

(bottom_ja_02)

ラックマウントの取り付け

取り付け方法は左右同じです。



ラックマウント時のご注意

必ず付属のネジをご使用ください。

この機器が動作保証する室温は0~40℃です。

他の機器と一緒にEIA標準のラックにマウントする場合、各機器からの熱でラック内の温度が上昇し、十分な性能を発揮できないことがあります。この機器に熱がこもらないように、必ず以下の条件でラックにマウントしてください。

- ・パワーアンプなどの発熱しやすい機器と一緒にマウントする場合は、他の機器との間を1U以上空けてください。また、このスペースは通風パネルを取り付けたり、開放したりして、十分な通気を確保してください。
- ・ラックの背面を開放して、ラックを壁や天井から10cm以上離し、十分な通気を確保してください。ラック背面を開放できない場合は、ラックに市販のファンキットなどの強制換気用装置を設置してください。ファンキットを取り付けた場合は、ラックの背面を閉じた方が放熱効果が大きくなることもあります。詳しくはラックおよびファンキットの取扱説明書をご参照ください。

取扱説明書の種類

UR816Cの取扱説明書は、以下の2種類で構成されています。

スタートアップガイド(本書)

製品を使う前のコンピューターの準備について説明しています。このスタートアップガイドの内容に沿ってコンピューターの準備が完了したら、オペレーションマニュアルをお読みください。

オペレーションマニュアル(PDF)

製品の機能や使い方について説明しています。オペレーションマニュアルは、Steinbergウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.steinberg.net/hardwaredownloads>

NOTE

PDFファイルを開くには、Adobe Readerがコンピューターにインストールされている必要があります。最新のAdobe Readerは、以下のウェブサイトから無料でダウンロードできます。

<https://www.adobe.com/jp/>

取扱説明書の表記

WindowsとMac

手順や説明で、WindowsとMacで操作が異なる場合や、どちらかのOSだけで使える機能の場合は、OSの名称を記載しています。

OSの記載がない場合は、両OSで共通です。説明のための画像は、Windows版を使っています。ただし、Mac版だけの機能を説明するための画像は、Mac版を使っています。

Cubaseシリーズ

本取扱説明書の「Cubaseシリーズ」とは、Cubaseのすべてのグレードを指します(Cubase LEは除く)。特定のグレードを指すときは、そのグレードを記載しています。

説明のための画像は、Cubase10を使っています。ほかのバージョンのCubaseを使っている場合、画像が異なることがあります。詳細はCubaseの取扱説明書をご参照ください。

Cubasisシリーズ

説明のための画像は、Cubasis 2を使っています。ほかのバージョンのCubasisを使っている場合、画像が異なることがあります。

手順

手順の一部は、「→」を使って簡潔に記載しています。たとえば、[スタジオ] → [スタジオ設定] → [コントロールパネル]と記しているときは、以下のように操作します。

1. [スタジオ]メニューをクリックします。
2. [スタジオ設定]オプションを選択します。
3. [コントロールパネル]ボタンをクリックします。

バージョン情報

x.x.xとx.xxはバージョンを示します。

電源の準備

電源アダプターの接続

1. 本体フロントパネルの電源スイッチが、オフ[**⏻**]になっていることを確認します。
2. 電源アダプターの本体側のプラグを、本体リアパネルのDC IN [16V]に差し込みます。
3. 電源アダプターに接続した電源コードのコンセント側のプラグを、家庭用(AC100V)コンセントに差し込みます。

注記

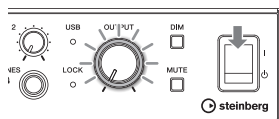
電源アダプターは、本製品から十分に離してください。本製品に雑音が生じる場合があります。

電源のオン/オフ

電源オン

本体フロントパネルの電源スイッチを[**I**]側に押しすと、電源が入ります。

フロントパネルの[OUTPUT]ノブ周囲のLED (POWERインジケーター)が点灯します。



電源オフ

本体フロントパネルの電源スイッチを[**⏻**]側に押しすと、電源が切れます。

フロントパネルの[OUTPUT]ノブ周囲のLED (POWERインジケーター)が消灯します。



警告

電源をオン/オフの前に、必ず機器音量(ボリューム)を最小にしてください。
聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。

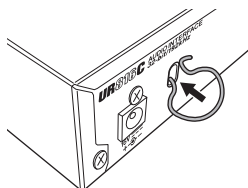
注記

電源スイッチのオン / オフを連続してすばやく切り替えると、誤動作の原因になることがあります。電源をオフしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。

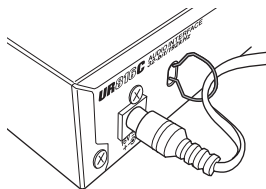
ケーブルフックの取り付け

録音中などに不意に電源コードが抜けるのを防ぐため、付属のケーブルフックを使用する場合は以下の手順で取り付けます。

1. 付属のケーブルフックの片方の先を、リアパネルの左上部のセキュリティースロットの下側にひっかけます。



2. 反対側のフックの先を押し込んで、セキュリティースロットの上側に入れます。
3. フックに電源コードを通して電源アダプターを本体に差し込みます。



TOOLS for UR-C

TOOLS for UR-Cは、本体をコンピューターに接続して使うために必要なソフトウェア群です。本体ご使用の前に、TOOLS for UR-Cを以下のSteinbergウェブサイトからダウンロードしてコンピューターへインストールしてください(インストール手順 → 14ページ)。

<http://www.steinberg.net/hardwaredownloads>

TOOLS for UR-Cは、以下の3つのソフトウェアが収録されています。

NOTE

- TOOLS for UR-Cは、iOS非対応のソフトウェアです。
- 最新のTOOLS for UR-Cについては、Steinbergウェブサイトをご参照ください。

Yamaha Steinberg USB Driver

本体とコンピューターの間でデータをやりとりするためのソフトウェアです。

Steinberg UR-C Applications

コンピューターから本体の設定を変更したり、Cubaseシリーズとの連携機能を使ったりするためのアプリケーションソフトウェアです。以下の2つのソフトウェアで構成されています。

• Steinberg dspMixFx UR-C

本体を単独で使用するときに、Cubaseシリーズ以外のDAW (Digital Audio Workstation)ソフトウェアで本体を使用するときに、本体のさまざまな設定をするエディターソフトウェアです。CubaseとdspMixFx UR-Cを同時に起動しても使用できます。

• Steinberg UR-C Extension

本体との連携機能に対応したCubaseシリーズと組み合わせて使うためのソフトウェアです。本体との連携機能に対応したCubaseシリーズのバージョンは、以下のSteinbergウェブサイトをご参照ください。

<https://japan.steinberg.net/>

Basic FX Suite

Basic FX Suiteは、ヤマハが長年培ってきたモデリング技術を応用して開発されたプラグインソフトウェア群です。Basic FX Suiteには以下の3つのプラグインが含まれます。

NOTE

Macでは、VSTプラグインに加えてAU (Audio Unit) プラグインが追加されました。

• Sweet Spot Morphing Channel Strip

コンプレッサーとイコライザーを組み合わせたチャンネルストリップです。

• REV-X

ヤマハがプロオーディオ機器用に開発したデジタルリバーブです。

• Guitar Amp Classics

ヤマハがモデリング技術を駆使して開発したギターアンプシミュレーターです。

コンピューターで使う前の準備

本体をコンピューターで使う前に、以下の3つの準備をします。

- ・ TOOLS for UR-Cのインストール
- ・ Basic FX Suiteのアクティベーション
- ・ Cubase AI (DAW)のダウンロード

TOOLS for UR-Cのインストール

SteinbergウェブサイトからTOOLS for UR-Cをあらかじめダウンロードしてください。以下の手順で、TOOLS for UR-Cをインストールします。

NOTE

- ・ このソフトウェアは、インストールの途中に表示される「使用許諾契約」に同意いただいた場合にのみご使用いただけます。
- ・ アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、以下のSteinbergのウェブサイトをご参照ください。
<https://japan.steinberg.net/>
- ・ 製品のライセンスを管理するソフトウェア「eLicenser Control Center (eLCC)」も同時にインストールされます。

Windows

1. コンピューターから、マウスとキーボード以外のUSB機器をすべて外します。
2. コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
アプリケーションを終了し、使っていない画面をすべて閉じます。

3. あらかじめダウンロードしておいたTOOLS for UR-Cを展開します。
4. 展開したフォルダー内にある、[setup.exe]をダブルクリックしてインストールを開始します。

5. 画面の指示に従って、インストールします。

NOTE

- ・ 途中で「eLicenser Control Center」のインストール指示が表示されますので、画面の指示に従ってインストールします。
- ・ インストールするソフトウェアは選択できません。
 - Yamaha Steinberg USB Driver
 - Steinberg UR-C Applications
 - Basic FX Suite (VST3プラグイン)

6. インストールが完了したら、[完了]をクリックします。

再起動を促す画面が表示されたときは、画面の指示に従ってコンピューターを再起動します。

インストール後の確認

7. 付属のUSBケーブルを使って、本体とコンピューターをつなぎます。
USBハブは使わずに直接接続します。
8. 本体の電源をオンにします。
9. [コントロールパネル] → ([ハードウェアとサウンド] →) [デバイスマネージャー]を開きます。
10. [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]の左側の[>]マークをクリックします。
11. 一覧に、本体の名前が表示されていることを確認します。

以上で、TOOLS for UR-Cのインストールは完了です。

Mac

1. コンピューターから、マウスとキーボード以外のUSB機器をすべて外します。
2. コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログインします。
アプリケーションを終了し、使っていない画面をすべて閉じます。
3. あらかじめダウンロードしておいたTOOLS for UR-Cを展開します。
4. 展開したフォルダー内にある、[TOOLS for UR-C V*.pkg]をダブルクリックしてインストールを開始します。
***はバージョン番号です。
5. 画面の指示に従って、インストールします。

NOTE

- ・途中で「eLicenser Control Center」のインストール指示が表示されますので、画面の指示に従ってインストールします。
- ・インストールするソフトウェアは選択できます。
 - Yamaha Steinberg USB Driver
 - Steinberg UR-C Applications
 - Basic FX Suite (VST3/AUプラグイン)

6. インストールが完了したら、[再起動]もしくは[閉じる]をクリックします。

インストール後の確認

7. 付属のUSBケーブルを使って、本体とコンピューターをつなぎます。
USBハブは使わずに直接接続します。
8. 本体の電源をオンにします。

9. [アプリケーション] → [ユーティリティ] → [Audio MIDI設定]を開きます。

10. 画面の左側の一覧に、本体の名前が表示されていることを確認します。

以上で、TOOLS for UR-Cのインストールは完了です。

Basic FX Suiteのアクティベーション

「TOOLS for UR-Cのインストール」でインストールしたBasic FX Suite を使うために、ESSENTIAL PRODUCT LICENSE INFORMATION に記載されているアクティベーションコードを使って、ライセンスをインターネット経由でダウンロードします。

1. 以下の方法で、「eLicenser Control Center」を開きます。

Windows

[すべてのプログラム] または [すべてのアプリ] → [eLicenser] → [eLicenser Control Center] を開きます。

Mac

[アプリケーション] → [eLicenser Control Center] を開きます。

2. [アクティベーションコードの入力] をクリックします。

3. 付属のESSENTIAL PRODUCT LICENSE INFORMATIONに記載されているアクティベーションコードを、半角文字で入力します。

4. 画面の指示に従って、ライセンスをダウンロードします。

NOTE

USB-eLicenser (USBプロテクションデバイス) をお使いのときは、ライセンスの保存先を選ぶ画面が表示されます。画面の指示に従って、ライセンスの保存先を選択してください。

なお、USB-eLicenserにライセンスを保存した場合、USB-eLicenserからSoft-eLicenserへライセンスを移動できませんのでご注意ください。

Cubase AIのダウンロード

本製品をお買い上げの方にCubase AI (DAW)を無料で提供しています。Cubase AIはコンピューターで音声の録音や再生、編集ができる音楽制作用のソフトウェアです。ダウンロードには、Steinbergウェブサイト内のMySteinberg でアカウント作成が必要です。

詳細は、以下のSteinbergウェブサイトをご参照ください。

<http://japan.steinberg.net/getcubaseai/>

NOTE

ダウンロードには、ダウンロードアクセスコード (Download access code)が必要になります。付属のCUBASE AI DOWNLOAD INFORMATIONに記載されています。

以上で、準備は完了です。

本体の機能や使い方については、オペレーションマニュアルをお読みください。

dspMixFx Remote Bridge

dspMixFx Remote Bridgeは、iOS機器のdspMixFx UR-CとコンピューターにUSB接続しているUR816Cを、Wi-Fi経由で接続するためのソフトウェアです。

dspMixFx Remote Bridgeをコンピューター (PC/Mac)に別途インストールすることによって、iOS機器上のdspMixFx UR-CでUR816Cをリモートコントロールできます。コンピューターから離れた場所でもUR816Cを操作できるため、たとえばレコーディング中のモニター環境の調整などに便利です。

その場合、コンピューターにTOOLS for UR-Cがインストールされている必要があります。詳細は以下のSteinbergウェブサイトをご参照ください。

<https://japan.steinberg.net/>

iOS機器で使う前の準備

本体をiOS機器で使う前に、以下の準備をします。

アクセサリの準備

iOS機器と本体の接続に以下が必要な場合があります。

- ・ **Type-C端子を装備したiOS機器**
Apple社製品に同梱のUSB-C充電ケーブル
- ・ **Type-C端子を装備しないiOS機器**
Lightning - USBカメラアダプタ(別売)
または
Lightning - USB3カメラアダプタ(別売)

Steinberg dspMixFx UR-Cのダウンロード

App Storeでダウンロードしてください。

DAWアプリケーションのダウンロード

必要に応じて、App Storeでダウンロードしてください。

NOTE

- ・ TOOLS for UR-Cのインストールは不要です。
- ・ 対応のiOS機器の情報については、以下のSteinbergウェブサイトをご参照ください。
<https://japan.steinberg.net/>

以上で、準備は完了です。

本体の機能や使い方については、オペレーションマニュアルをお読みください。オペレーションマニュアルでは、例としてCubasisを使ってiPadでの操作説明をしています。

dspMixFx Remote Bridge

dspMixFx Remote Bridgeは、iOS機器のdspMixFx UR-CとコンピューターにUSB接続しているUR816Cを、Wi-Fi経由で接続するためのソフトウェアです。

dspMixFx Remote Bridgeをコンピューター(PC/Mac)に別途インストールすることによって、iOS機器上のdspMixFx UR-CでUR816Cをリモートコントロールできます。

コンピューターから離れた場所でもUR816Cを操作できるため、たとえばレコーディング中のモニター環境の調整などに便利です。

その場合、コンピューターにTOOLS for UR-Cがインストールされている必要があります。詳細は以下のSteinbergウェブサイトをご参照ください。

<https://japan.steinberg.net/>

アフターサービス

ユーザー登録のお願い

弊社では、ユーザーの方々にサポートし、関連情報をご提供するのために、本製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録手続きとご登録内容の変更は、下記 Steinberg ウェブサイト内の「MySteinberg」よりお願いします。

MySteinberg

http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/register_j/

* ユーザー登録には、製品本体のシリアル番号 (SER No.) が必要です。シリアル番号は、製品本体の底面に記載されています。

* ご登録いただいた個人情報の取り扱いについては、MySteinberg のプライバシーポリシーをご覧ください。

機能や取り扱いに関するお問い合わせ

お客様サポート & サービス

https://jp.yamaha.com/support/contacts/av_pa/steinberg_notes/



スタインバーグ・ウェブサイト

<https://japan.steinberg.net/>

修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

FAX 03-5762-2125 東日本 (北海道 / 東北 / 関東 / 甲信越 / 東海)
06-6649-9340 西日本 (北陸 / 近畿 / 四国 / 中国 / 九州 / 沖縄)

修理品お持ち込み窓口

東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島 2 丁目 1-1
京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 1 丁目 13-17
ナンバ(本ビル) 7F
FAX 06-6649-9340

受付時間

月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

● 保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類 (レシート、売買契約書、納品書など) とあわせて、大切に保管してください。

● 保証期間と期間中の修理

保証書をご覧ください。保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。

● 保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。使用時間或使用環境などで劣化する下記の有寿命部品の交換は、消耗劣化に応じて交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品

フェーダー、ポリウム、スイッチ、接続端子など

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後 8 年です。

● 修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

● 損害に対する責任

本製品 (搭載プログラムを含む) のご使用により、お客様に生じた損害 (事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益) については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

販売元

(株) ヤマハミュージックジャパン LM 営業部
〒108-8568 東京都港区高輪 2 丁目 17-11 3F

* 名称、住所、電話番号、営業時間、URL などに変更になる場合があります。

雅马哈乐器音响（中国）投资有限公司

上海市静安区新闸路 1818 号云和大厦 2 楼

客户服务热线：4000517700

公司网址：<https://www.yamaha.com.cn>

厂名：雅马哈电子（苏州）有限公司

厂址：江苏省苏州市苏州新区鹿山路 18 号

Steinberg Website
<https://www.steinberg.net/>

Manual Development Group
© 2019 Yamaha Corporation

Published 9/2019
2019 年 9 月发行
MWES-B1

VDN9540

